

「ふくしま赤しゃも」の基本能力調査

福島県養鶏試験場経営部
平成17年度養鶏試験場成績概要

- 1 部門名 畜産－鶏－畜産経営、その他
分類コード 07－04－49990000
- 2 担当者 齋藤美緒・関澤春仁・小林雄治
- 3 要 旨

ふくしま赤しゃものコマーシャル鶏の能力を確認するため、基本能力を調査した。
供試鶏には、平成17年4月20日ふ化のふくしま赤しゃも雄雌各270羽、計540羽を用いた。飼養管理は当场慣行法に従い、平飼い開放鶏舎で、飼料は28日齢までブロイラー前期用、28日齢以降はブロイラー仕上げ用を給与した。17週齢までの育成成績（育成率、体重、飼料摂取量）および120日齢の解体成績を調査し、前回の基本能力調査成績と比較した。
17週齢の発育成績は、育成率が雄97.4%と雌98.9%、体重が雄 3.33 ± 0.22 kgと雌 2.45 ± 0.27 kg、飼料摂取量が雄11.5kgと雌9.6kgだった。これより飼料要求率は雄3.39、雌3.95と算出できた。
120日齢での解体成績は、生体重に対する正肉（胸肉、腿肉、ささみ）割合が雄 $38.8 \pm 3.5\%$ と雌 $39.5 \pm 1.9\%$ 、手羽肉割合が雄9.1%と雌8.8%だった。
これらの成績を5年前（平成13年度）と比較して、ほぼ同等であった。さらに、成績のバラツキが小さく、ふくしま赤しゃもの性能は維持されていた。

4 その他の資料など

- (1) 関澤春仁ら、2002：ふくしま赤しゃもの基本能力調査、福島県養鶏試験場研究報告第30号